

OUR 新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

SPORTS 東京

〒 170-0013 豊島区東池袋 2-39-2

大住ビル 401

TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315

E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp

7・8月号 2009年7月21日

発行責任者：都連盟理事長 萩原 純一

「大きくなろう スポーツ連盟」

6月27、28日の2日間にわたって全国連盟主催の「組織拡大全国交流会議」が豊島区立生活産業プラザで開かれました。会議では、「経験と情報の共有化」「種目・地域を越えた運動化」を主なテーマに、各地・各種目の報告と討論が行われました。また、都道府県連盟と種目組織の具体的な相談や、機関紙・ホームページづくりの講義なども行われ、実践的な会議となりました。

組織拡大全国交流会議報告テーマと分科会

基調提案 北川登全国連盟スポーツ活動・組織局長

報告1「岩手県連盟結成にかけた情熱と組織化の手法を聞く」

伊藤司男岩手県連盟理事長

報告2「都道府県における種目組織間協力をどう生みだしたか」

吉成克実神奈川県連盟事務局長

報告3「卓球の『出前大会』のコツと卓球協を作る上での課題」

岩波道子全国卓球協副運営委員長

分科会1

第1分科会 団体種目の組織拡大の可能性を広げる取り組み

第2分科会 都道府県連盟がスポーツ愛好者に対して果たす役割

第3分科会 次世代を担う人材育成方法

分科会2

第1分科会 都道府県と種目組織の交流と相談コーナー

第2分科会 ホームページの立ち上げ、更新を維持しよう

第3分科会 アピール抜群の宣伝物の作り方をプロに学ぶ

～組織拡大全国交流会議に 出席して～

東京都連盟理事長 **萩原 純一**

みなさん、日ごろの活動の中で、施設の不足にイライラを募らせていませんか。東京都の公共スポーツ施設の数、人口比で「全国46番目」。これでは、スポーツ施設が確保できないのも当たり前です。せっかく参加申し込みをしてくれた愛好者に、心苦しくも「お断り」をせざるを得ないことは残念でなりません。スポーツ施設の整備充実は、東京で活動をする私たちにとって、解決しなければならない根本的な問題点の一つです。

また、「こういう取り組みをすればもっと要求に応えられるのに」と思いながらも、運営体制の面で手が回らないということはありませんか。様々な要求に応えるために、スポーツ愛好者自身が運営役員となって、工夫に満ちた取り組みを行うことは、スポーツ連盟の歩んできた歴史そのものです。

このような状況のもと、これまで続けてきた取り組みを継続しつつ、少しでも多くの人により良いスポーツ活動を楽しんでももらう努力をする一方で、あまりの活動量の前に、新たな仲間を増やすことへの力が注がれないままに活動を進めているということがないでしょうか。多くの愛好者の要求に応えること、新しい仲間を増やすこと、取り組



会場での報告の様子

みの中心となる組織の担い手を増やすことは、すべてつながっているものですが、どれか一つに取り組んでいけば自動的にすべてがうまくいくとは限らないものです。

全国連盟はこの間、「多様で魅力あふれるスポーツ活動とその組織化」という組織拡大の方針を掲げています。こ



伊藤司男岩手県連盟理事長

の方針を裏返して考えてみると、多くの愛好者が集まる運動体であるからこそ、多様で魅力あふれるスポーツ活動が行えるということになるのではないのでしょうか。つまり、より多くの愛好者の要求に積極的に応えていくために、私たちの主体的な力を大きくすることを呼びかけているのです。

スポーツ連盟の運動は来年で45年を迎えますが、「万人の権利」の基本理念を掲げて始まった運動は、今、確かな輝きをもって多くの愛好者から期待を寄せられています。だからこそ、来年3月までを目標として「10万人の連盟」実現をめざす運動を成功させ、新日本スポーツ連盟を一回り大きく成長させることを、みなさんにあらためて呼びかけます。

今回の組織拡大全国交流会議は、各地・各種目の積極的な取り組みに対する愛好者や既存団体などの期待が大変大きいことと、これらの声に応えれば飛躍的な発展は実現可能なことを感じさせてくれる会議となりました。そして、そのための具体策、ヒントに満ちた会議でしたので、みなさんにその一端を紹介したいと思います。

「組織拡大全国交流会議」は、全国各地から約60名の方々が2日間にわたって熱心な討論を進め、現在の活動の中に必ず組織を増やすことができる芽があることを、何度も何度も確認した会議となりました。

会議の中で最も注目を集めたのが、岩手県連盟の結成の話でした。全国で25番目の県連盟の誕生です。県連盟が結成されたことが、東北岩手県のスポーツ界に大きな変革をもたらしたことへの衝撃と、その変革を生んだ過程がなんと感動的だったことか。物語は、2006年8月に全国卓球協が出前大会として岩手県大会を開催し、そこに長い間、岩手県の卓球協会の県役員をやっていた伊藤司男氏（今会議の報告者）が顔を出したことから始まったのです。その後、全国卓球協と伊藤氏を中心とした奮闘によって、岩手卓球協が誕生し、すでに連盟組織があったスキーや登山、野球の仲間とともに、県連盟の結成に至ったのです。県連盟の理事長となった伊藤氏は第1回全国青年スポーツ祭典

卓球大会（1963年）の優勝者であったことも、また劇的な出会いの一つのとして紹介されました。その後の県連盟結成までにたくさんの討論を重ねて、県連盟を結成するまでに費やした労力が大きいことを私たちの活動に引き寄せて考えなければならない教訓があると感じました。

また、今回も積極的な活動として報告された全国卓球協の「出前大会」の取り組みは、その努力に頭が下がる思いであることと同時に、岩手県連盟の結成にもつながる計画的で明確な方針をもった活動として、大変参考になるものでした。

神奈川県連盟の吉成事務局長からは、県連盟理事会が一つになって、ランニングをはじめウォーキング、三浦遠泳大会、ファミリースキーなどの企画を進めている様子が紹介され、種目を越えた共通認識でさまざまな困難を乗り越えて進めている様子が、スクリーンいっぱいで紹介されました。東京都連盟では、加盟組織が大きくなって自立していく中で、「種目の違いを超えた協力体制」は少し影を潜めています、ヒントを与えてくれました。

都連盟に加盟する10種目組織と6地域組織が既存の取り組みをますます元気よく発展させる中に、組織を大きくできる要素があるか、それとも、まったく新しい取り組みにチャレンジする中で組織拡大の「素材」を発見するのか。一歩下がって組織の活動スタイルを改善し、元気な活動を再生させる中で組織を大きくするということが必要な組織もあるでしょう。繰り返しになりますが、「多くの愛好者の要求に応えること、新しい仲間を増やすこと、取り組みの中心となる組織の担い手を増やすこと」の3つについて、みなさんの勇気ある活動の点検をお願いいたします。そして、まずは1000人の新しい連盟員を東京都連盟に迎えることを掲げて、各組織が50～100人を増やす、あるいは10%増をめざすために努力することについて、組織的な合意をつくることをよびかけます。

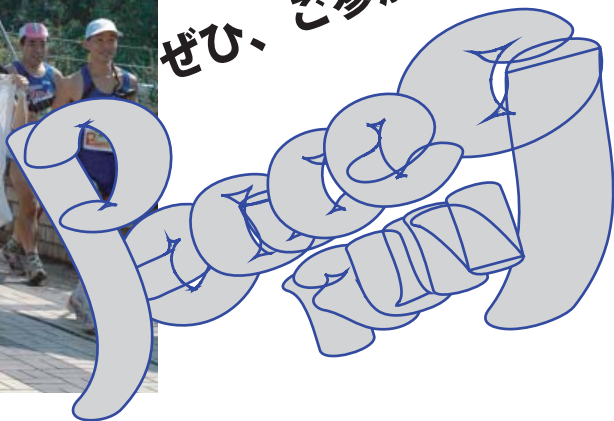


分科会の様子

東京 反核平和マラソン



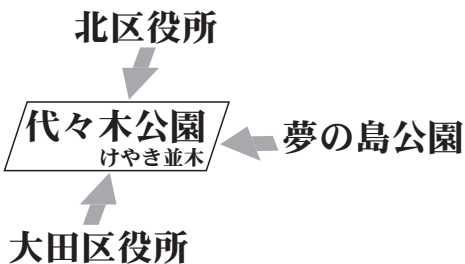
ぜひ、ご参加ください!



楽しく元気にアピール

3カ所をスタートゴールは代々木公園!

2009 8月1日(土) 参加費 2,000円 (平和募金100円含む)



各コースの予定

夢の島コース

夢の島公園
↓
江東区役所前
↓
中央区役所前
↓
港区役所前
↓
代々木公園
約18km

北区コース

北区役所前
↓
板橋区役所前
↓
豊島区役所前
↓
代々木公園
約16km

大田区コース

大田区役所前
↓
品川区役所前
↓
目黒区役所前
↓
渋谷区役所前
↓
代々木公園
約17km

出発時間 (予定)

夢の島公園—午前10時
北区役所前—午前11時
大田区役所前—午前10時30分
※出発時間の30分前には集合していただくようお願いします。
全コースとも午後2時到着の予定
☆1区間だけの参加も大歓迎です。2~3キロ毎に給水も行います。途中の区間を伴走車に乗る事もできます。

お申し込み・お問い合わせは

新日本スポーツ連盟東京都連盟
「反核平和マラソン」係 まで

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル401
電話 03-3981-1345 FAX 03-3981-8315
Eメール njsf@tokyo.email.ne.jp
ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/sports/renmei>

私にとっての魅力はこれ!

参加者のメッセージ

これを思いで走ります!

「平和に対する熱い思い」を走りながら訴えることができることは素晴らしいことです。(60代男性)

今年も歌いながら走ります。うまいビールと平和に向かって…(40代女性)

沿道からの声援が嬉しい。反核・平和の世論を広げていると実感できます!(20代男性)

「苦しい時こそ教訓を引き出し、成長できるチャンス」

☆：新日本スポーツ連盟の事はいつどのように知ったのですか？

金沢：大学に入学してすぐに、地元でサッカーチームを結成して、体育協会の主催していた地域のリーグ戦に参加したのですが、運営の仕方が気に入りませんでした。試合日程を勝手に決められてしまうのでメンバーが集まらず試合に出場できない事もありました。そんな時、東京サッカー協議会初代会長の吉田博さんに誘われ、東京サッカー祭典に出場しました。そして、選手が主役で、誰もが楽しめる事を考え、「組織（クラブや、チーム）施設、指導者」の3つを増やし、大事にすべきだという方針に深く共感し、東京サッカー協議会に加盟しました。

元来、体育協会のやり方には違和感を覚えていました。競技ができる環境を整備して競技人口を増やせば、レベルが上がっていくはずなのに、企業チームばかりに金を出し、一般のクラブチームを応援する姿勢は全く見られませんでした。

☆：東京サッカー協議会ではどのような活動をされてきたんですか？

金沢：大好きなサッカーを楽しむために、力を合わせて活動をしてきました。まずは年間10試合、コンスタントに試合ができるようにリーグ戦を行うのが基本です。同時に各地から勝ち上がったチームによる全国大会の予選として東京スポーツ祭典があり、そこから、リーグ戦開始前に腕試しにトーナメント戦を行いたいという声が出て、春季トーナメント戦を始めました。最近ではミニサッカーにも手を広げ、フット・ア・セット（※）の大会も全国に先駆けて開催しました。

また、そのために、組織化を進めてきました。運営上のルールを決める、



プロフィール

1952年生まれ。56歳。東京都出身。東京オリンピックでサッカーのチケットが手に入ったので見に行ったのがきっかけでサッカーに興味を持ち、中学生からサッカーを始める。サッカークラブ「ういんどろ' S」所属
趣味は歴史・美術鑑賞

仲間を広げる、そして技術の向上をはかるなどの努力を重ね、最大で44チームが在籍するほどになりました。全体的なサッカー人口、クラブ数も増え続けました。しかし、施設数が競技人口に比べ全くと言っていいほど増えませんでした。そして1993年のJリーグ開幕を機に急激に競技人口が増えたことが影響して、グラウンド確保が極めて困難になりました。そのためリーグ戦の開催が難しくなり、チームの数も減少してしまい、現在は20チームほどに減ってしまいました。残念ですが、「サッカーという競技を定期的に楽しみたい」という要求に応えきれていないというのが現状です。

最近では経済不況の影響で継続的にリーグ戦などに参加する事が困難になり、脱退、解散してしまうチームもあります。また、組織化されることを敬遠するような風潮があるようです。オープン形式の試合には参加してくれ

ても、その時々楽しんで終わってしまう。非常に惜しいなと感じています。

☆：今後、どのように活動を発展させていこうとお考えですか？

金沢：まずは運営の質を高めていきたいですね。きちんと連盟費などを納めてもらう。そうすると、やはり運営にも意見を出すようになります。そして審判員をきちんと確保することです。1チーム最低3人は協議会公認の審判員資格を取得してもらい、研修会などを年間通じて行い、質を高めています。公平な試合運営が行われることが、魅力になり、参加が広がると考えます。

さらに、今まで「自主的に」と任せてきた専門部や委員会への参加を、積極的に要請するようにしました。最初はあまり乗り気でなくても、一度みんなで集まれば、そこにはサッカー好きの仲間が集まるわけです。参加してみれば、居心地良く感じてもらえるようで、ほとんどがその後も定着しています。そうして全体的に自分たちの組織を自分たちで支えようという意識を育てられれば、最大の懸案である、グラウンド確保にも、各クラブが積極的に足を踏み出してくれると思います。今までもチーム数が減ったり、苦しい時こそ教訓を引き出して、持ち直してきました。今度も必ず苦しい時期を乗り越えていきますよ。

（聞き手—編集委員・渡辺）

※フット・ア・セットとは？

F S G T（フランス労働者スポーツ・体操連盟）考案の7人制サッカーでコートの大さはサッカーの半分。スライディング等は禁止。オフサイドもありません。また、線審も含め審判がいない相互審判制なので、反則をしたら自ら名乗り出る、問題が起きたら話し合いで解決を図るなど、フェアプレー精神を育むことにもつながります。 ☆詳しくは「スポーツの広場」2009年7・8月号をご覧ください。

東京都連盟

NEWS

地元の方も驚くほどの素晴らしさ ～東京ウォーキングクラブ6月例会

梅雨に入り、天候が心配されましたが、太陽が照り付ける月例会でした。

今回は、六月二十日、京王線の高幡不動駅に24名が集まりました。コースは、多摩動物園の外周を回り、最後に高幡不動尊のアジサイを見ながら解散となりました。緑の木々をわたる風は気持ちよく汗ばんだ体を包み、心までさわやかになりました。

地元に住んでいる会員のKさんは「動物園まではよく来ましたが、すぐそばにこんな素晴らしいコースがあるなんて知らなかった」と感激していました。遠くに多摩川と連なる住宅街を見ながら緑の小道を歩く感動は又格別です。

初めての方の参加を歓迎しています。いつでも連絡して参加してください。「ウォーキングってこんなに楽しい」と言っていた、荒井さんは自動車族でした。

(東京ウォーキングクラブ会長 三浦 二郎)



過去最大の参加者が集まる ～第34回ふれあい赤羽駅伝

6月7日、猛暑の中荒川河川敷のランニングコースにおいて楽しく、そして賑やかに行われました。東京春季スポーツフェスティバルの一貫として開催するようになって今回で6回目です。東京ランニングクラブと北区連盟の共催という方式で、力を合わせて奮闘してきたこともあり、年々参加者が増えてきています。共催前は100チームほどだった参加チーム数も今回は過去最大の254チームとなりました。

優勝は男女とも赤いユニホームで「赤ユニ軍団」と称される石川眼科チームで、女子は2連覇を達成しました。また、特別賞として、最多参加チーム賞、パフォーマンス賞、参加コメント賞の3つを設けています。最多参加チームの「浦和駄馬の会」には、「駄馬」にちなんで、大量のニンジンというユーモアにあふれた賞品が贈られました。

大会運営員の藤野さんは「この駅伝大会を楽しんでもらうために、工夫を重ねてきました。今回からは、記録を自動的に測定するICチップを導入したことにより、参加チームが多くなっても瞬時に正確な記録が発表できるようになりました。ただし、参加チームが増えるにしたがい、コースが専有でないため、他の利用者との接触事故の防止などには、多くの人員が必要になってきています。北区連盟では他の種目の方にも協力を呼びかけて、総力をもって臨んでいます。これからも、みなさんに満足してもらえるよう工夫をして行きたいと思います。」と述べていました。

(編集委員・渡辺)

試合方式も形式も人気です ～第11回綾瀬オープンレディース トリオマッチ卓球大会

6月25日(木)に行われました、綾瀬オープンレディーストリオマッチ卓球大会も今年で11回目を迎えました。2人の団体戦「ペアマッチ」からこの3人の団体戦「トリオマッチ」が誕生し、その後さらに4人の団体戦「ハッピーカルテット」がうまれました。

レディースの大会はほとんど東京体育館で行われていますが、このトリオマッチは唯一東京武道館で行われているレディース大会です。埼玉、千葉、神奈川、茨城と、他県のクラブチームの参加申し込みも多く、毎年お断りを大量に出すような状態です。

試合は1試合を3人で行い、1番をダブルス、2番3番をシングルスで行い、ダブルスに出場した人は2番のシングルスには出場できません。全試合を同じ3人で戦っていきます。

4チームでリーグ戦を行い同順位トーナメントを行う試合形式ということもあり、人気をよんでいます。毎年レベルも上がり、リーグ1・2部クラスのクラブチームの参加も多く、ハイレベルな戦いが繰り広げられていますので、今後も発展が期待できます。

(東京卓球協 目黒)



**新規加盟チームの参入で活気！
～第 63 回 NJSF バドミントン
クラブ対抗戦**

バドミントン協議会は 6 月 27 日(土)、大森スポーツセンターにて第 63 回 N J S F クラブ対抗リーグ戦を開催しました。今回は本紙 3 月号で掲載されました。

今回は年度初めに近いこともあって、このリーグ戦にあわせて 6 クラブの新規加盟があり、2 月の前を上回る男女 33 チームの出場で盛り上がりました。大会運営は地元大田区の B-J O Y。新規加盟チームは最下位のランクから参入することになります。下の部で優勝すればワンランク上の部に昇格するシステムになっています。通常下の部ほど実力は低いのですが、今回は最下位の部は全て新規クラブで、大学やその O B 達のチームも見られ、年齢層が若くて強い選手が多い。新規チームの場合、例えば男子 4 部優勝のスポーツ愛好会(東京直属)の実力は、どんどん勝ち進んで 1 部まで上がると思われるほど。他の新規チームの実力も相当のようで、今後のリーグ戦はさらに活気づくでしょう。

トップ争いも注目です。男子 1 部は、日本ウエルネススポーツ専門学校 A(板橋)が、新任の片岡コーチが選手をかねて出場し優勝の座を奪い返しました。棄権落ちしていた O V E R B R E A T H-A(神奈川)は 2 部で優勝、次回は 1 部に戻るのもまた面白くなりそうです。女子 1 部は前回優勝のチーム・インパクト(埼玉)が棄権しましたが、代わりに 2 部から繰り上がった O V E R B R E A T H(神奈川)も同じくらい強い。しかしながら結果は決勝でストレート勝ちしたヤマなみん C(練馬)が優勝。女子 2 部は直前加盟の T-r i s e(多摩協)が、昨年神奈川代表として全国祭典に出場して新規加盟した R O B I N S を

2-1 で下して優勝。次回は 1 部でどこまで勝ち上がるか見ものです。

冷房などない熱いアリーナで、絶えず手足を動かしてさらに熱くなるバドミントン。他のスポーツの方も一度見に来て欲しいと思います。直接見るバドミントンはテレビでは味わえない若さと迫力がありますよ。

(東京バド協 大野)



円陣を組む O V E R B R E A T H のメンバー

大会結果

- 男子 1 部** 1 位日本ウエルネススポーツ専門学校 A 2 位コスモ B C-B
3 位ヤマなみん C 4 位 V i t a-A
5 位南の鉄人 6 位コーカーズ
- 男子 2 部** 1 位 O V E R B R E A T H-A
2 位 O V E R B R E A T H-B
3 位 B. B. B 4 位 ヤノックス
5 位日本ウエルネススポーツ専門学校 B
6 位 B-J O Y
- 男子 3 部** 1 位コスモ B C-A
2 位気分次第 3 位 L i n k s
4 位 V i t a-B 5 位 B e e r ' s
6 位新宿バード
- 男子 4 部** 1 位スポーツ愛好会
2 位一橋 O B 3 位 R O B I N S
4 位 T-r i s e 5 位 T・S・N・B・C
- 女子 1 部** 1 位ヤマなみん C
2 位 O V E R B R E A T H
3 位コスモ B C
4 位日本ウエルネススポーツ専門学校
5 位 B-J O Y 6 位 B e e r ' s
- 女子 2 部** 1 位 T-r i s e
2 位 R O B I N S 3 位気分次第
4 位一橋 O G

**元気なクラブを増やして組織拡大を
～東京都勤労者スキー協議会
総会報告**

6 月 21 日、新宿スポーツセンターにおいて、第 42 回東京スキー協定期総会が行われ、各クラブ代議員・理事・傍聴者の約 70 名が出席しました。

全国スキー協と東京スキー協は、今年創立 40 周年を迎え、1 週間にわたって開催された全国スキー協の記念行事「40 周年ウィーク」には、全体で述べ 700 名が参加しました。東京スキー協と加盟クラブは、「40 周年ウィーク」や、これにあわせて来日した F S G T 代表団とのクラブ交流・歓迎会に取り組みました。

会員数では、会員増となったクラブ数は増えていますが、全体では前年に比べ 7 名減の 739 名となりました。広く行事への参加を呼びかけて会員増につなげているクラブ活動に学び、元気なクラブを増やしていくことが組織拡大の鍵となっています。また、恒例となっているジュニアスキー、東京競技大会、スノージャンボリーなどの主催行事や、クラブ合同行事などを通して、活動が停滞していたクラブが元気になるなどの成果も現れています。

その他、山スキーや競技スキー、ウィークデー行事など、会員の要望に即した取り組みや、地域に根ざしたクラブ活動によって、積極的に愛好者と会員を増やすことが提起されました。

総会討論では、各クラブの活動交流やジュニア層への普及の呼びかけ、指導員養成や、より幅広い層のレベルアップをめざした行事などについて討論が行われました。

(総会報告・討論より編集委員会まとめ)



主な議題

第3回理事会 6/13(土)

- ・オリンピック東京招致関連
- ・BumB プール営業中止問題
 - ・東京反核平和マラソン
 - ・都民生活要求大行動
- ・「OUR SPORTS 東京」の発行
 - ・組織拡大全国交流会議
 - ・FSGT「第4回子どもスポーツフェスティバル」
- ・総会報告(北、中野、スキー)
 - ・2010 全国スポーツ祭典

第4回理事会 7/13(月)

- ・FSGT 子どもスポーツフェスティバル報告
- ・組織拡大全国交流会議報告と討論
- ・都民生活要求大行動要求提出
- ・オリンピック東京招致関連
- ・東京反核平和マラソン
- ・FSGT フット・ア・セット 代表団歓迎
- ・「OUR SPORTS 東京」の発行

・オリンピック東京招致関連

異議あり！2016 石原オリンピック連絡会(5/21,6/4)として、東京招致問題についてまとめた冊子の作成と東京都(招致委員会)及びIOCへの働きかけについて検討が進んでいます。特に、IOCについては他国の招致反対派との面会などが報道されており、東京招致に異議を唱える連絡会としても、IOCに働きかける重要性が討議されました。その結果、東京都への申し入れ、IOCへの文書送付、及び10月2日のIOC総会にあわせて代表団を派遣することとしました。都連盟としても1名を派遣し、派遣募金等も行うこととします。

・BumB プール営業中止問題

3月初めに天井からボルトが落下し営業中止となっているBumB(夢の島・東京スポーツ文化館)について、陳情署名・議会審査とその後の働きかけが行われています。

特に、「工事内容の検討中」とされたまま、営業再開に向けての動きが遅々として進まない状況は、プールで活動しているクラブ・都民に対する重大な責任放棄であり問題です。

・FSGT(フランス労働者スポーツ・体操連盟)交流

9月18日から、FSGT(フランス労働者スポーツ・体操連盟)の「フット・ア・セット代表団」が来日します。最初の3日間は東京に滞在し、フット・ア・セットや交流を行う予定であり、都連盟としても東京サッカー協等と協力し、代表団の歓迎と交流を

行うことを決定しました。6月には萩原都連盟理事長と石川神奈川県連盟理事長が新日本スポーツ連盟を代表してFSGTの「第4回子どもスポーツフェスティバル」に参加しており、すべての子どもにスポーツをする機会をつくること、とりわけ「子どもの権利条約」を国内に普及することに力を入れているFSGTの活動が報告されました。

・その他

「組織拡大全国交流会議」、東京反核平和マラソンについては本号別記事を参照。

※「フット・ア・セット」については本号4ページ「OUR SPORTS・この人に聞く」に掲載されている説明文を参照してください。

(井上)

経過と予定

- 5/11 第2回理事会
- 5/16、/17 全国連盟理事会
- 5/21 異議あり！オリンピック連絡会(第1回)
- 5/24 北区連盟総会(井上)
- 5/27 都議会文教委員会陳情審査(BumB問題、武蔵野の森)
- 5/28 中野区連盟総会(北川)
- 6/4 異議あり！オリンピック連絡会(第2回)
- 6/11 「OUR SPORTS 東京」編集委員会
- 6/11 FSGT 子供スポーツフェスティバル壮行会
- 6/13 第3回理事会
- 6/15 第3回祭典事務局会議
- 6/16 異議あり！都庁記者クラブ記者会見
- 6/16 東京反核平和マラソン実行委員会(第3回)
- 6/19 都民生活要求大行動実行委員会(第1回)
- 6/21 東京スキー協総会(北川)
- 6/25 東京自治フォーラム実行委員会(第2回)
- 6/27、/28 全国連盟組織拡大交流会議
- 6/29 異議あり！オリンピック連絡会(第3回)
- 6/30 FSGT 子供スポーツフェスティバル報告会
- 7/13 第4回理事会
- 7/18 全国スポーツ祭典実行委員会(第4回)
- 7/23 東京反核平和マラソン実行委員会(第4回)
- 7/24 都民生活要求大行動実行委員会(第2回)
- 7/30 異議あり！オリンピック連絡会(第4回)
- 7/31 東京自治フォーラム実行委員会(第3回)
- 8/1 第14回東京反核平和マラソン
- 8/10 第5回理事会

編集後記

しとしとと降り続く梅雨の雲…にあまり出会わないうちに、猛暑の夏になりました。連盟事務所のある池袋にいるとヒートアイランド現象の街を実感できます。高層ビルから排出される熱が一極集中の都会の空に集まり、夜10時頃になってから土砂降りの「夕立」。東京都は、「水と緑の東京」と言いながら、臨海部に高層ビルを乱立させ、東京湾から都内に流れ込んでくるはずの風をせき止めてきた…そんな都政に対する怒りの声が都議選に現れたのではないのでしょうか。巨大開発と抱き合わせのオリンピック招致ではなく、「庶民の生活向上とスポーツ振興」と一体となったオリンピック運動に取り組む東京都にしていかなければいけません。その道筋を知るためにも、東京都や都議会議員の人たちに、生き生きとスポーツを楽しむ連盟のスポーツ愛好者の姿を直に見てもらわなければならないと思います。(井上)

都連盟スポーツカレンダー 2009年8、9月

都種目組織	期日	行事名	会場
卓球協議会	8/1, 9	第18回全国卓球選手権大会 年代別団体戦東京都予選	上板橋体育館、中央区総合スポーツセンター
	8/8, 9	第18回全国卓球選手権大会 一般団体戦東京都予選	上板橋体育館、中央区総合スポーツセンター
	8/10, 11	第12回関東オープン中学生・高校生卓球大会個人戦	東京武道館
	9/22, 23	第18回全国卓球選手権大会 個人戦東京都予選	大森スポーツセンター
ランニングクラブ	8/23	月例ランニング講習会	BumB・研修ルームA
	9/5～6	検見川ランニング教室	千葉・東京大学検見川総合運動場
	9/20	月例ランニング講習会	BumB (東京スポーツ文化館 研修ルームB)
水泳協議会	7/31～8/2	第38回東京海の水泳教室	館山海岸
テニス協会	9/6	オータムオープン	都立有明テニスの森公園テニスコート
	9/13	第46回東京スポーツ祭典テニス大会	都立有明テニスの森公園テニスコート
バレーボール	9/22	第46回東京スポーツ祭典バレーボール大会	BumB
サッカー協議会	9/20	09ミニサッカーフェスティバル	駒沢競技場
ウォーキング	8/22	善福寺川を源流まで歩く	J R阿佐ヶ谷駅 集合
	9/27	真鶴半島を歩く	J R真鶴駅 集合

地域連盟・地域組織	期日	行事名	会場
北区連盟			
バレーボール	8/2	第47回北区スポーツ祭典夏季シニアバレーボール大会	滝野川体育館
	9/19	第47回北区スポーツ祭典バレーボール 予選男子・女子	滝野川体育館
硬式テニス	9/13	第47回北区スポーツ祭典硬式テニス 女子ダブルス大会	新河岸コート
	9/23	第47回北区スポーツ祭典硬式テニス 男子ダブルス大会	新河岸コート
野球	8.2, 16, 30	リーグ戦	中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場
	9/6, 20	リーグ戦	中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場
サッカー	8/9, 16, 23	第47回北区スポーツ祭典サッカー大会	北運動場、荒川サッカー場
水泳	8/6, 13, 20	第47回北区スポーツ祭典水泳初心者教室	王子プール
ソフトボール	9/27	第47回北区スポーツ祭典ソフトボール大会	中央公園野球場
卓球	8/9	第47回北区スポーツ祭典プログレッシブリーグ卓球大会	滝野川体育館
ランニング	8/23	月例赤羽マラソン	岩淵堤防土手
	9/27	月例赤羽マラソン	岩淵堤防土手
太極拳	9/7～11/30	第47回北区スポーツ祭典太極拳初心者教室	王子小体育館
練馬区連盟			
硬式テニス	8/2, 9, 16	第41回練馬スポーツ祭典	土支田庭球場
	8/22, 23, 29, 30, 9/23	第21回クラブ対抗団体戦	土支田庭球場
バドミントン	8/16, 23	第41回練馬スポーツ祭典	光が丘体育館
卓球	8/29	第41回練馬スポーツ祭典卓球大会	練馬区立光が丘体育館
ソフトテニス	8/2	第32回ソフトテニススクール	高野台運動場 (庭球場)
野球	9/6, 21, 22, 23	第41回練馬スポーツ祭典	北大泉野球場
板橋区連盟			
卓球	8/1, 8	板橋スポーツ祭典卓球大会	上板橋体育館
テニス	8/9	男子夏季団体戦	加賀テニスコート
	8/23	夏季中・高生大会	徳丸ヶ原公園テニスコート
バレーボール	8/30, 9/6	板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会	赤塚体育館
杉並区連盟			
バレーボール	9/21	杉並スポーツ祭典	上井草スポーツセンター
バスケットボール	8/23	前期リーグ戦	新座市民総合体育館
	9/23	前期リーグ戦	中央区総合体育館
中野区連盟			
卓球	8/2	中野3D大会	中野体育館
	9/26	中野スポーツ祭典・団体戦	中野体育館
テニス	8/3, 17, 24, 31, 9/28	テニス教室A・Bコース第2期	中野体育館
	8/7, 20, 27	テニス教室C・Dコース第2期	中野体育館
	9/3, 10, 17, 24	テニス教室C・Dコース第3期	中野体育館
	8/6, 20, 27	テニス教室E・Fコース第2期	哲学堂テニスコート
	9/10, 17, 24	テニス教室E・Fコース第2期	哲学堂テニスコート
江戸川卓球協議会			
卓球	8/9	第40回 江戸川オープンMIX ベアマッチ卓球大会	江戸川スポーツセンター
多摩地区			
ランニング	9/13	月例多摩川ロードレース	多摩川・国立ランニングコース
バドミントン	9/21	第46回東京スポーツ祭典多摩 バドミントン大会	稲城市総合体育館